



発行

(一社)岩手県労働者福祉協議会
盛岡市大通1丁目1-16 岩手教育会館3F
TEL (019) 654-3082

発行責任者 佐々木秀市
編集責任者 菅野 健司

No.166 2022年7月8日発行

第82回定時総会開催

総会
スローガン

「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、
連帯・協働でつくる安心・共生の福祉社会をつくります」

すべての議案を全会一致で確認

岩手労福協は、5月26日(木)、第82回定時総会をホテルニューカーリーナにおいて開催しました。八幡博文副会長の開会挨拶で総会が始まり、議長に平和環境岩手県センターの菊池要悦氏が選出されました。

佐々木秀市会長は2021年度を振り返り、「新型コロナウイルス感染症が3年目に入り、景気の低迷や人口減少の影響、ウクライナ情勢なども重なり、暮らしの先行きは大変不透明な状況が続いている。」と現状認識を示し、「戦後、組織の枠を超えて築き上げた“福祉は一つ”の理念は変わりようがなく、社会システムが加速度的に変化・進化していく時代にあっても、労働者福祉運動の基盤である“連帯・協働でつくる安心・共生の福祉社会”の実現に向けた運動は次世代へ継承していかなければならない。本日の総会では、あらためて労働者福祉運動の理念について確認したい。」と理事会を代表して挨拶を述べました。

議事は、第1号議案「2021年度事業報告」、第2号議案「2021年度会計報告並びに監査報告」、第3号議案「理事及び監事の報酬等」、第4号議案「2022年度団体会費」、第5号議案「理事及び監事の任期満了に伴う役員選任」のすべての議案が可決承認されました。



* 岩手労福協 [2022年度～2023年度役員] *

会長	佐々木 秀市	(連 合 岩 手)	理事	佐藤 浩之	(信 用 生 協)
副会長	八幡 博文*	(東北労金岩手県本部)	理事	佐藤 工	(岩手県学校生協)
副会長	佐藤 伸一	(こくみん共済coop岩手)	理事	伊藤 裕一	(連 合 岩 手)
副会長	金田 一文紀	(平和環境岩手県センター)	理事	佐藤 茂生	(連 合 岩 手)
副会長	吉田 信	(岩手友愛会)	理事	藤本 誠	(連 合 岩 手)
専務理事	菅野 健司	(岩手労福協)	監事	長谷川 博之	(東北労金岩手県本部)
常務理事	鈴木 圭	(連 合 岩 手)	監事	赤坂 徹	(こくみん共済coop岩手)
理事	佐藤 淳一	(ハピネス共済会)			

※副会長 八幡博文は、6月23日をもって辞任しました。

ライフサポートセンターいわて 第 15 回定期評議員会開催

ライフサポートセンターいわては、5月26日（木）、ホテルニューカリーナにおいて第15回定期評議員会を開催し、2021年度活動報告、会計決算・監査報告、2022年度活動計画（案）、予算（案）、役員改選など全議案が原案通り可決承認されました。

ライフサポートセンターいわては引き続き、「くらしの何でも相談」を中心に勤労者とその家族の安心・安全な暮らしをめざして活動してまいります。同時に、2023年度以降のライフサポート事業（無料生活相談）のあり方について協議を進めます



* ライフサポートセンターいわて〔2022年度～2023年度役員〕*

理事長 佐々木 秀 市（連 合 岩 手）
 副理事長 八 幡 博 文*（東北労金岩手県本部）
 副理事長 佐 藤 伸 一（こくみん共済 coop 岩手）
 副理事長 金田一 文 紀（平和環境岩手県センター）
 副理事長 吉 田 信（岩手友愛会）
 事務局長 菅 野 健 司（岩手労福協）
 事務局次長 鈴 木 圭（連 合 岩 手）

理 事 佐 藤 浩 之（信 用 生 協）
 理 事 佐々木 正 人（連 合 岩 手）
 理 事 村 上 純（L S C 北 上）
 理 事 伊 東 喜 幸（L S C 宮 古）
 会計監査 長谷川 博 之（東北労金岩手県本部）
 会計監査 赤 坂 徹（こくみん共済 coop 岩手）

※副会長 八幡博文は、6月23日をもって辞任しました。

ライフサポートセンターいわて 2022 年度研修会



ライフサポートセンターいわては、定期評議員会終了後に研修会を開催しました。講師に一般社団法人レッドカーペット・プロジェクト（以下、RCP）の高橋和良代表理事（左写真）をお招きして、「市の花椿を基軸に被災地での新興を探る～劣悪環境の被災整備土地が広がっていた～」と題して、RCPの取り組みを紹介していただきました。

RCPは、陸前高田市の未活用地を椿の花で真っ赤に染めることで、新しい景観を創り（観光資源）、椿を原料とする商品製造を通じて雇用を創出、さらには障がい者や高齢者の方の就労の場づくりなどに取り組んでいます。講演では、椿にまつわる歴史から現在の形にするまでの苦労話まで広範に亘るお話をしていただきました。なお、岩手労福協は、2021年度から東日本大震災被災地支援事業にRCPを追加しました。

フードバンク岩手支援

フードバンク岩手は、緊急食糧支援の要請が増える夏休みを前に、緊急フードドライブを7月29日まで実施します。夏休みは、要請が通常月の倍以上に増加する期間、その件数は2019年678世帯、2020年829世帯、2021年924世帯と年々増えています。長引くコロナ禍と物価上昇により、給食を頼りに生活する子どもがいる世帯からの要請が、さらに増えると予想されています。

岩手労福協は、2017年度からフードバンク岩手の支援に取り組んでおり、配送料やマンパワー確保など事業運営に役立ててもらうため、支援金を夏季と年末の年2回支援金を贈ってきました。2022年夏季支援は、第8回連合岩手・岩手労福協合同チャリティーゴルフコンペの収益金を含む5万円を6月28日に寄付しました。

現在不足している食品ジャンルトップ3は、瓶詰類、缶詰類、レトルト食品だそうです。ご家庭に眠っている該当品がありましたら、フードバンク岩手に寄付をお願いします。詳細は、ホームページでご確認ください。

第8回連合岩手・労福協合同チャリティーゴルフコンペ開催



岩手労福協は、連合岩手と合同で第8回チャリティーゴルフコンペを6月17日（金）盛岡南ゴルフ倶楽部で32名（8組）が参加して開催しました。当日の天候は晴れ、各自スコアメイクに苦しみながらも梅雨の晴れ間で心地よい汗を流しました。参加された皆さんから頂いたチャリティー（一人1,000円、総額32,000円）は、フードバンク岩手に全額寄付しました。



優勝した佐藤哲也さん（左）

【結果】 優勝 佐藤 哲也（JAM）
第2位 長谷川博之（東北労金）
第3位 高橋日出美（電機連合）

第82回定時総会「佐々木会長挨拶」要旨

新型コロナウイルス感染症は3年目に入り、景気の低迷や人口減少の影響、ウクライナ情勢なども重なり、私たちの暮らしの先行きは不透明な状況が続いている。岩手労福協は、コロナ禍にあっても可能な限りの活動を模索し、公益事業をはじめとする各種事業に取り組んできたところである。労働者の定年に目を向けると、公務員の定年引き上げ法案が可決され65歳定年制が2032年に完成する。今後、定年のあり方や定年後の社会保障制度への関心が高まっていく中で、国の高齢者雇用政策や人口減少、平均寿命の伸びを考えると、70歳定年あるいは定年廃止時代が来ても不思議ではなく、組合員が退職後も安心して暮らしていける社会の仕組みを求めている。

労福協運動は、1949年、戦後の食料や生活必需品不足など危機的状況になった際、労働者を守るために組織の枠を超えて、生活物資を調達するための協議会を結成したことに始まった。私たち労働者の手で作り上げた労金や全労済、生協は、互いに助け合い、支え合っていくことが基本であり、ともに運動する主体として今があり、労福協理念の「福祉は一つ」の精神はここにある。これから先、コロナ禍が終わった後には、社会システムがものすごいスピードで変化・進化していくだろう。そういった時代であっても、労働者福祉運動の基盤である「連帯・協働でつくる安心・共生の福祉社会」の理念は変わりようがなく、次の世代へ継承していかなければならない。本日の総会において、あらためて労働者福祉運動の理念について確認していきたい。

2022年度 主な行事予定

1. 2022年度労働者自主福祉運動に関する理念・歴史講座

労働者自主福祉運動の歴史を振り返り、労働運動と労働者自主福祉運動が果たしてきた役割を学び、その理念に対する認識と理解を深めること、さらには職場や地域における運動推進を目的に開催します。

- 日 時 8月27日(土) 午前9時30分～午後12時00分
- 場 所 エスポワールいわて 3F「特別ホール」
- 募 集 40名程度、参加無料
- 対象者 労働団体・事業団体の役職員と福利厚生担当者
- 講 師 高橋 均氏(中央労福協講師団)
東北労働金庫岩手県本部
こくみん共済coop岩手推進本部

2. 2022年度退職準備サポート研修会

退職後の不安解消の一助に資するため、年金制度の概要、お金の活用策や保障設計などについて学び、退職後の生活に役立てていただくために開催します。

[盛岡開催]

- 日 時 9月3日(土) 午前10時～午後3時35分
- 場 所 エスポワールいわて 2F「大中ホール」
- 募 集 先着50名、参加無料

[北上開催]

- 日 程 9月10日(土) 午前10時～午後3時35分
- 場 所 北上オフィスプラザ 2F「セミナールーム」
- 募 集 先着50名、参加無料

3. 2022年度地区協議会・労働団体・事業団体合同会議および交流会

- 日 程 9月16日(金) 午後2時30分～午後5時00分
- 場 所 エスポワールいわて 1F「小会議室」
- 出席者 14地区(各1名)、労働団体(各2名)、事業団体(各2名)
- その他 会議終了後、会費制で交流会を開催します。

4. 2022年度岩手県知事との懇談会

- 日 時 10月4日(火) 午後6時00分～午後8時00分
- 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡・ニューウイング 3F「星雲西の間」
- 参加者 労働団体(各2名)、事業団体(各2名) *会費制

5. 2022年度研究集会

相続は、多くの人が何れ遭遇する身近な問題です。また、組合会計における税務処理は無関心ではられません。今回はこの2点を取り上げ、職場や地域で役立つ知識を学び考察を深める機会とします。

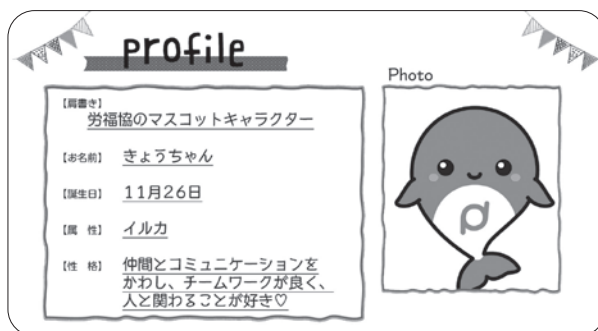
- 日 時 10月15日(土) 午前9時30分～午後12時00分
- 場 所 エスポワールいわて 3F「大中ホール」
- 募 集 50名程度、参加無料
- 対象者 労組役職員と実務担当者
- 講 師 関口邦興氏(税理士、中央労福協顧問)
- 内 容 講義Ⅰ「相続と贈与」
講義Ⅱ「労働組合等に係る会計税務に関する実務」

6. 第34回岩手県勤労者野球大会

- 日 時 10月23日(日)
- 場 所 雫石町営 鶯宿グラウンド
- 内 容 8チーム(最大)によるトーナメント戦、参加無料

7. 第41回岩手県勤労者美術展

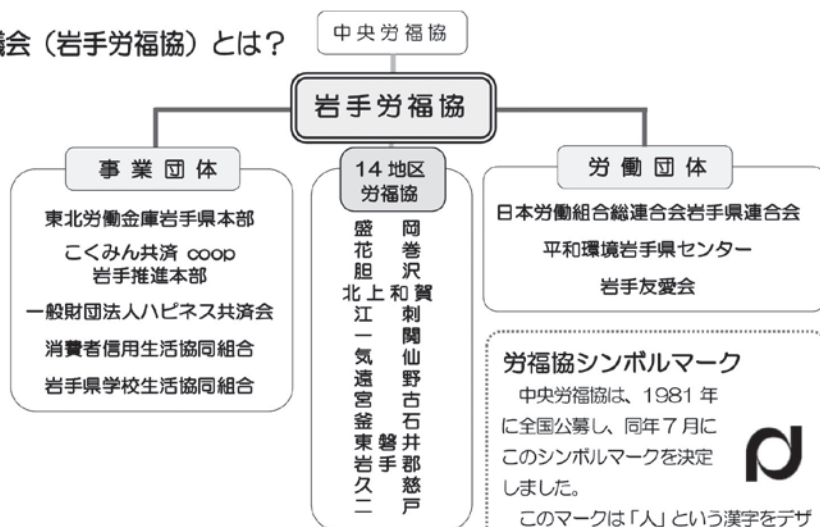
- 会 期 11月25日(金)～27日(日)
- 時 間 午前10時～午後5時まで
- 場 所 盛岡市民文化ホール・展示ホール
- 募 集 絵画・写真・書道(各部門一人1点まで)、出品無料



一般社団法人岩手県労働者福祉協議会(岩手労福協)とは？

岩手労福協は、労働団体並びに福祉事業団体で構成され、勤労者福祉活動を総合的に推進することを目的とする団体です。

「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります」をスローガンに構成団体間の福祉活動の連絡・調整をはかり、福祉事業団体の育成、あるいは勤労者の教育、文化、スポーツ交流等を通じて、すべての働く人々とその家族が安心して暮らせる社会を築くための諸活動を進めております。



福祉はひとつ

<事務局>

〒020-0022 岩手県盛岡市大通 1-1-16 岩手教育会館 3F TEL:019-654-3082/FAX:019-651-5024

労福協シンボルマーク

中央労福協は、1981年に全国公募し、同年7月にこのシンボルマークを決定しました。



このマークは「人」という漢字をデザイン化したもので、簡潔で親しみやすさが重視され、中の輪は人と人の「和」を表しています。